

3人制バスケット U18日本選手権



表彰式で笑顔を見せるIversonのメンバー
(日本バスケットボール協会提供)

八学光星高女子準V

全国高校選手権に弾み

11月30日、1日に東京都内で行われた3人制バスケットボールの大会・第6回3x3 U18日本選手権(日本バスケットボール協会主催)に出場した八戸学院光星高女子バスケットボール部の4選手によるチーム「Iverson」が、準優勝に輝いた。「まさか2位になれるとは」と驚きつつ、栄えある結果に喜んでいる。
(金濱千優希)

3人制バスケットボールは、10分間の試合時間内で得点が多いチーム、もしくは先に21点を奪ったチームが勝利となる。大会には、各エリア予選を勝ち抜いた16チームが参加し、トーナメント戦で上位を競った。

出場したのは、いずれも同部3年の小笠原佳澄さん(17)、山瀬風さん(17)、長牛姫菜乃さん(18)、能地七花さん(18)。部活動終了後のわずかな時間に練習を重ね、本番に臨んだ。

同チームは5人制バスケットボールで培った堅守が武器。準々決勝、準決勝共に勝ちを急がず、10分間を戦い抜き、相手はロスに抑えたことが勝利につながった。能地さんは「チームでうまくカバーし合い、それぞれが役割を果たすことができた」と勝因を挙げた。

同校が青森県代表として出場する全国高校選手権(23日開幕・東京都)に向けても、弾みとなる結果。小笠原さんは「プレートをシュートで終わることの大切さなどを学んだので、5人制にも生かしたい」と次の舞台へ向けても気合十分だった。